※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台芸術論	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（１）舞台芸術は、古代ギリシアから、日本では古典芸能から、長い年月を経て形づくられてきました。その歴史を知り、その流れの中でとらえることで、現代に上演され鑑賞されている舞台芸術を深く理解することを目指しています。また放送文化は、番組制作のための様々な過程、背景を知れば、日ごろ何気なく目にしているテレビなどの放送作品についてまた新たな視点でとらえることを目指しています。
（２）歴史や背景、過程についての情報を知ったうえで、自分なりの考えを形成し、それを表現、発表できる力を身につけましょう。
（３）クラスメートの意見をよく聞いて理解し、またクラスメートと協同して発表を作り上げることができるようになりましょう。

２　学習の到達目標

（１）日本および世界の長い舞台芸術の歴史をふまえ、様々な舞台芸術の形式があることを知るとともに、放送文化が出来上がるまでに、どんな人々が関わり、どのような過程を経ているのか理解する。
（２）舞台芸術、放送文化に対する理解を深め、自分なりの意見、疑問をもち表現する。また、歌舞伎の「ういこうぶり」の台詞を発声することによって舞台表現を体験する。
（３）主体的に様々な発表・課題に取り組むことによって、自己表現力を磨くとともに、クラスメートと協働できる力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・舞台芸術の歴史､様々な形式を知る。 ・放送番組の制作の過程や背景を知る。 ・歌舞伎の「ういこうぶり」の発声を身につける。 ・自己紹介や様々な発表の技能を身につける。	・舞台芸術の歴史を踏まえ、舞台芸術全体、様々な形式の作品の理解を深め、それを自分の考えとして表現する。 ・放送番組制作の過程や背景についての理解を深め、自分の考えとして表現する。 ・歌舞伎作品として「外郎売」の内容を理解し表現する。 ・自己紹介や様々なテーマにあった表現の発表ができる。	・様々な舞台芸術や放送番組を、興味をもって鑑賞し、自分の考えをきちんと文章にし、さらに積極的に発表しようとしている。 ・歌舞伎の「外郎売」を積極的に発声し発表しようとしている。 ・自己紹介や様々なテーマにあった発表を主体的にクラスメートと積極的に協力して取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自己表現	・自己紹介 ・芸能文化科紹介 ・キャッチコピーの作成	a:効果的な発表の技術を知る。 b:課題のテーマをしっかり理解し表現できている。 c:積極的に自らの発表が出来ている。クラスメートの発表をよく聞き、また協力して発表に取り組もうとしている。	レポート	振り返りシート	発表
	放送文化	・放送番組制作に関わる人々 ・放送番組ができるまで ・視聴率の問題点 ・放送番組と法令	a:放送文化、番組制作についての様々な情報を知る。 b:放送文化の特徴、番組制作の過程について理解を深める。 c:自分の意見を文章にまとめ、発表することができる。グループで協力してテーマに沿った発表を積極的に行っている。	定期考査	振り返りシートト	発表
後期	舞台芸術	・舞台芸術の歴史。 ・舞台芸術の様々な形式 ・世界(西洋)の舞台芸術のと東洋(日本)の舞台芸術への影響。 ・	a:舞台芸術の歴史や形式について知る。 b:舞台芸術の歴史や形式、現代の舞台芸術との関わりについて理解を深める。 c:自分の意見や疑問を文章化し、発表しようとしている。	定期考査	振り返りシート	発表
	古典芸能体験	・歌舞伎「外郎売」の概要 ・歌舞伎「外郎売」の発声練習 ・歌舞伎「外郎売」の発表	a:歌舞伎「外郎売」の概要を知る。 b:歌舞伎「外郎売」の発声を練習し、現代の台詞の言い方との違いについて理解を深める。 c:歌舞伎「外郎売」の台詞回しを自分なりに工夫し発表しようとしている。	レポート	振り返りシート	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度